

| | | | |
|--------------|----------------|------------|------|
| 授業科目名 | 音楽の世界(2000019) | | |
| 時間割名 | 音楽の世界(24101) | | |
| 時間割担当 | 山本美紀 | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 2 選択 |
| 曜日・時限 | 火・4 | | |

授業の目標・概要

音楽祭やコンサートなどの音楽企画は、一定のテーマの下に音楽作品を集めることで、その今日的な意味を問い直し、意義付けを行うものでもある。本講義では、ジャンルにとらわれず実際に行われた音楽企画を取り上げ、そこで扱われた個別の作品について音楽の場や担い手、様式、作品成立の背景となった社会や文化など、様々な側面から理解を深めることを通して、それぞれの企画に反映された音楽の世界について考え、知識を得ることを目指す。

学習の到達目標

音楽をただ聞き流すだけでなく、音楽に込められた様々な意味や思いを受け止め、さらに自分の中で自分なりにその音楽を位置づける知識を獲得すると共に、音楽によって感動したことや、その良さを他者に説明したり伝えたりすることができるようになることを到達目標とする。

授業方法・形式

各回のテーマとなる音楽作品と演奏について、担当者が執筆したプログラムノート（曲目解説）などをもとに講義を受け、音楽作品に関する映像・音源を鑑賞する。さらに、受講生がそれぞれ好きなアーティストや楽曲について調べて授業内で紹介・解説し、みんなで鑑賞後、ディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 世界の音楽：文化圏と音楽
- 第3回 日本の音楽芸能史
- 第4回 西洋音楽の歴史概説：キリスト教と音楽
- 第5回 西洋音楽の歴史概説：民衆と音楽
- 第6回 なぜ「バッハ」なのか？
- 第7回 なぜ「モーツァルト」なのか？
- 第8回 なぜ日本人は「第九」を歌うのか？
- 第9回 コンサートをつくるということ
- 第10回 世界の「ふるさと」：歌の力は存在するか？
- 第11回 世界の「ふるさと」：旋律（メロディー）の力は存在するか？
- 第12回 「音楽療法」は「音楽」で「癒す」のか？
- 第13回 ディスカッション：今、行ってみたいコンサート
- 第14回 ディスカッション：授業内で最も印象に残った音楽について
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

課題提出(60%) 期末レポート(40%)
毎回の課題を必ず提出すること(それが平常点を兼ねている)。授業時に適宜プリントを配布する。

授業時間外の課題

授業時に指示する参考図書などによる、次回授業テーマに関する基礎知識の事前学習。日ごろから、身近なところで行われている音楽活動について関心を持ち、気になるものについては実際に足を運ぶなど、常に情報を集めておくこと。指示されたレポート課題の提出。レポートのテーマや字数制限など詳細については、授業内で指示する。

メッセージ

ただ単に音楽を聞き流す生活から、音楽をきっかけに広い世界への扉を開けることができるようになれば、人生が確実に変わります。しかしそのためには、実はそれなりの知識やテクニックが必要です。この授業で音楽を自分なりに楽しんだり、深く聴いたりする方法を実践的に学び、さらにそれを他者に伝える方法を学ぶことで、音楽を生涯の友として慰めや励ましを汲み取る力を獲得することができます。

「ただ生きるだけでなく、よりよく生きる」ことの重要性が叫ばれるように、音楽も「ただ聞くだけでなく、よりよく聴く」ことが大切です。なぜなら、それによって人は音楽から様々なものを得、充実した人生を送ることができるようになるからです。期待して受講してほしいと思います。

教材・教科書

授業時に指示するので、必ず購入の上受講すること。なお、音楽専門用語が出てくるので、何らかの辞書(電子辞書・携帯電話の辞書は不可)の持参を勧める(推奨辞典については、授業内で紹介)。

参考書

授業時に適宜紹介する。